

水鏡

MIZU-KAGAMI
WATER-KAGAMI

No. 115

計画的に水質検査を実施しています



水道水の水質検査計画・結果は、市 HP（下の二次元コード）または水道部営業センター窓口で公開しています。



市 HP は
こちらから▶▶▶

詳細・お問い合わせ先

- 令和5年度決算
【詳細】総務課 財務係 ☎385-1214
- 緊急貯水槽の応急訓練を実施
【詳細】水道整備課 ☎385-1220
- もしものときのために水の備蓄を
【詳細】水道整備課 ☎385-1220
- 道路とマンホールの段差に注意
【詳細】下水道施設課 ☎385-4988
- 冬期は見込み水量で請求
【詳細】営業センター ☎385-4987
- 2カ月ごとの料金請求に変更
【詳細】営業センター ☎385-4987

令和5年度 水道事業・下水道事業会計決算

水道部では、令和元年度から10年間の目指すべき方向性や実現方策を取りまとめた「江別市上下水道ビジョン」に基づき、各事業を進めています。令和5年度決算の概要をビジョンとの比較を交えてお知らせします。

■ 決算の概要（左表1・2）

健全経営を維持

事業収益は、給水人口の減少などに伴う水需要の低下で、維持・確保が難しい状況にあります。費用面において、各種経費の節減に努めた結果、水道事業では約1億1千万円、下水道事業では約1億5千万円の純利益を計上することができました。

■ 主要事業（左表3・4）

水道事業

安全で安心して使える水道水を安定的に供給するため、基幹管路の耐震化や老朽化し

た配水管の布設替などを実施しました。

下水道事業

安全・安心で快適な生活環境を確保するため、老朽化した管路や機械などの改築更新を実施しました。

■ 今後の取り組み

安全で良質な水道水を安定供給し、下水処理による快適な生活環境づくりを推進するため、老朽施設の更新を計画的に行っていく予定です。

市民の皆さんが安心して生活を送ることができるよう、安定的な水道事業や下水道事業の運営を進めていきます。

緊急貯水槽の応急訓練を実施しています

現在、市の水道普及率は99%を超え、水道は生活に欠かせないライフラインとなっています。

平成7年に起きた阪神・淡路大震災を契機に、災害時にも給水が行えるよう、緊急貯水槽を市内6カ所に設置し、災害や緊急時に備えて、自治会参加型の訓練を実施しています。

今年度は8月に、「とちのき公園」の緊急貯水槽で、住民参加の訓練として応急給水訓練を実施しました。

毎年、緊急貯水槽を設置している地域の自治会に訓練のご案内をしています。お近くで実施されるときは、ぜひご参加ください。



ご注意ください

道路とマンホールの段差

下水道管の中は冬でも一定の温度を保っているため、積雪期間は、マンホールの上に積もった雪が解けることで路面との間に段差ができることがあります。特に夜間や吹雪などで見通しが悪い場合は、段差に気づかない場合もありますので、車の運転や歩行の際には注意しましょう。



冬期は見込みの水量で請求します

水道料金・下水道使用料は、使用実績を基に見込み水量（認定水量）で1カ月分を計算し、2カ月ごとの検針で料金を精算しています。

地下式メータは、積雪があると検針できないため、1～3月は見込み水量（認定水量）で請求し、4月以降の検針月に過不足を精算します。精算時に実際の使用水量が見込み水量（認定水量）を上回った場合、料金が一時的に高くなる場合があります。

見込み水量（認定水量）は変更することができますので、ご連絡ください。

なお、電子式メータは、冬期間も通常どおり検針を行います。

令和7年9月から変更します

2カ月ごとに料金を請求

水需要の減少や物価高騰の影響などで、上下水道事業の経営は厳しい状況となっています。

各種収納手数料や郵送料などの経費を削減し、現行料金をできるだけ長く維持するため、令和7年9月の検針分から2カ月ごとの料金請求に変更します。

なお、2カ月分の合計金額は、これまでと変わりません。ご理解・ご協力をお願いします。

表1 損益の状況

項目	水道事業		下水道事業	
	決算	(ビジョン)	決算	(ビジョン)
営業収益	22億4,182万円	(22億4,770万円)	20億8,634万円	(20億6,419万円)
営業費用	22億3,998万円	(22億4,499万円)	30億5,968万円	(30億5,833万円)
営業外収益	1億3,792万円	(1億2,406万円)	12億3,419万円	(12億6,260万円)
営業外費用	2,628万円	(4,041万円)	1億1,044万円	(1億5,765万円)
純利益	1億1,348万円	(8,636万円)	1億5,041万円	(1億1,081万円)

表2 資金残高・企業債残高

項目	水道事業		下水道事業	
	決算	(ビジョン)	決算	(ビジョン)
資金残高	13億4,148万円	(6億6,261万円)	9億1,284万円	(6億1,067万円)
企業債残高	20億7,776万円	(21億5,375万円)	93億4,801万円	(90億9,998万円)

※ビジョンの数値は令和6年3月に実施した中間見直し前の値（表1・2）

表3 水道事業

基幹管路耐震化事業	延長 2,129 m
配水管整備事業	延長 3,277 m
浄水施設整備事業	上江別浄水場中央監視システム更新など
配水施設整備事業	上江別浄水場元江別線減圧弁設置



▲ 基幹管路耐震化事業

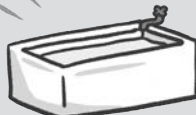
表4 下水道事業

管路施設改築更新事業	延長 1,387 m
処理場・ポンプ場施設改築更新事業	緑町ポンプ場沈砂池機械設備更新など

もしものときのために 水の備蓄を

日頃から、災害による断水などに備えて、1人あたり1日につき3ℓを目安に、3日分の飲料水を備蓄しましょう。3日を過ぎた水は、洗濯や掃除などの生活用水として利用しましょう。

また、お風呂の残り湯を捨てずにためておくと、トイレなどの生活用水として使用できます。
※お子さんの転落事故を防ぐために浴槽のふたは閉じましょう



備蓄している給水袋は数に限りがあります

市が備蓄する給水袋は数に限りがあります。給水所で水を入れるための容器（ペットボトルやポリタンクなど）を日頃から準備しておきましょう。